

暮らしに役立つ

西広島

医療情報

52

尿(おしっこ)は、腎臓(左右1個)で作られて尿管という管で膀胱に運ばれます。膀胱でためられた尿(蓄尿)は膀胱の利尿筋の収縮で尿道から排泄されます(排尿)。

尿(おしっこ)は、腎臓(左右1個)で作られて尿管という管で膀胱に運ばれます。膀胱でためられた尿(蓄尿)は膀胱の利尿筋の収縮で尿道から排泄されます(排尿)。

尿の異常の一つに血尿があります。血尿は、大きく分けて(1)顕微鏡的血尿(目でみてもわからない)と(2)肉眼的血尿(目でみて赤いおしっこ)に分類されます。(2)の肉眼的血尿は、痛くも何ともない血尿(無症候性肉眼的血尿)と他の症状、たとえば排尿痛などを伴う症候性肉眼的血尿

にわけられます。

この無症候性肉眼的血尿は、尿路の癌(腎臓、尿管、膀胱、前立腺)の存在を必ず疑わなければならない重要な症状です。また、やっ

血尿について

かいなことが、この血尿は数回出た後、自然にとまることがあります。この為、自己判断で受診をせずに尿路の癌が増大して手遅れになることがあるのです。

他の症状を伴う肉眼的血尿(症候性血尿)は、膀胱炎などと炎症の場合が多いの

ですが、しかし膀胱癌でもまれに排尿痛を伴うことがありますので注意が必要で、もともと内科的疾患(腎炎、血管の異常など)で血尿が発生することもあります。

以上より、肉眼的血尿を認めたら、速やかな泌尿器科受診をお勧めします。検査としては、①検尿②尿細

胞診(尿中に癌細胞があるかどうか)③尿路造影(エコー、CTも含む)④膀胱鏡検査などを行い、血尿の原因を追究します。

また、顕微鏡的血尿(尿潜血)はほとんどの場合、重篤な病気はなく治療する必要もありませんが、たん

ぱく尿を伴えば、糸球体腎炎を疑い腎臓内科で精査してもらいます。しかし臨床的には、尿潜血でも精査の結果、前立腺癌、膀胱癌が見つかったケースもありますので、やはり一度は専門医への受診が必要ですよ。

(廿日市市佐伯地区医師会 JA厚生連広島総合病院泌尿器科 小深田義勝)

※休日受付病院は4面「今週のお知らせ」コーナーに掲載。

